



わん丸君バス

この8月号の特集に、「わん丸君バス」を取り上げました。私からも「わん丸君バス」について触れてみます。

「わん丸君バス」の名づけ親は、犬山の子どもたちです。「コミュニティバスに愛称をつけたらどうか」という子どもの提案から「わん丸君バス」が誕生しました。自分たちの思いが形になる…まさに主権者教育の取り組みです。

【そもそもわん丸君バスってなに？】

公共交通不便地域等を運行するコミュニティバスのことです。交通弱者のみなさんの移動手段を確保するため、小型バスで犬山市内

の各地域の内部に入り、地域と公共施設を結ぶなどして利便性を高めます。市民のみなさんの要望などを聞きながら、よりよい交通サービスとして充実しつつ、地域活性化や外出支援でげんきづくりの狙いも併せ持ちます。

【これからわん丸君バスがどう変わるの？】

各地域の課題を解消して、より利便性を向上させるために12月から路線とダイヤを変更します。大きな変更のポイントは3つです。

①路線を変更

地元要望に対応したルートの見直しを実施します。

②危険なバス停の解消

横断歩道の近くや交差点の曲がり角の近くなど危険なバス停が21か所あり、そのすべてのバス停を移設または廃止します。

③遠く危険な中学校までの登校

栗栖地区や今井地区、池野地区の中学生が、それぞれの中学校まで通学に利用できる路線・ダイヤを設定します。

【まだまだ検討しなければならないことはたくさんあります】

土曜日日曜日の運行やそのために「わん丸君バス」の台数を増やすこと、バス運転手さんの人員を増やすことなどです。

また、交通弱者支援は「わん丸君バス」の他、実証実験を行った「デマンド交通」（決まった時間に、決まった停留所を回るのではなく、予約を受けてあらかじめ決められた場所まで行き、利用者を巡回しながら、相乗りで目的地まで運行）や高齢者タクシー、障害者タクシー料金助成制度があります。

そこで、「わん丸君バス」と「デマンド交通」、「タクシー」を総合的に考慮した交通体系の中で、犬山市が必要とする交通弱者対策を一体的に考えていきます。今年度中にその方針をお示しします。

「交通弱者対策と地域の活性化、市民のみなさんのげんきづくりのために…前に進めます」